基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

【商品分類】 追加型投信／内外／資産複合　【設定日】 2000年7月31日　【決算日】 原則7月15日

運用実績

ハッピーエイジング20

基準価額および純資産総額

基準価額	26,608円
純資産総額	254.31億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

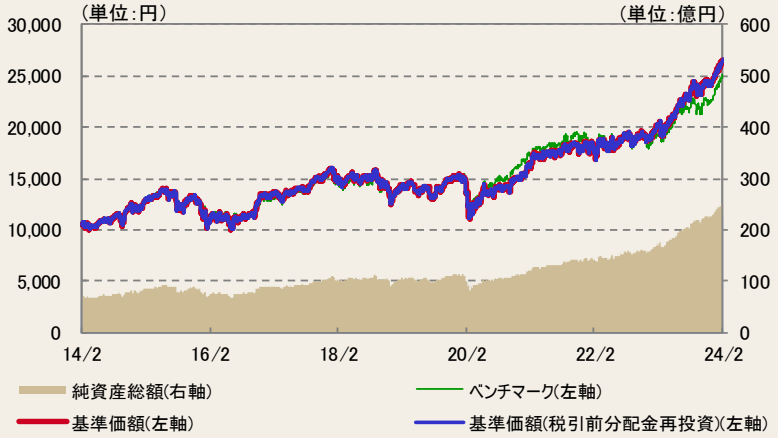
期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	3.62%	4.50%	−0.88%
過去3ヵ月間	9.30%	11.34%	−2.04%
過去6ヵ月間	12.75%	13.10%	−0.35%
過去1年間	31.98%	31.08%	0.90%
過去3年間	65.65%	48.15%	17.49%
過去5年間	85.77%	78.79%	6.98%
設定来	166.08%	176.24%	−10.16%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

基準価額・純資産の推移

2014/02/28～2024/02/29



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2019年07月	0円
2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	32.97%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	26.20%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	25.97%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	5.99%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.68%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	2.00%
コール・ローン等	2.20%

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

運用実績

ハッピーエイジング30

基準価額および純資産総額

基準価額	24,088円
純資産総額	253.28億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

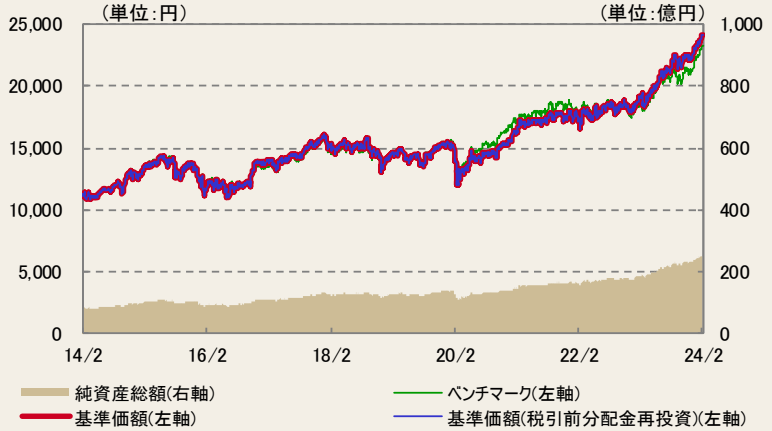
期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	2.93%	3.75%	−0.82%
過去3ヵ月間	7.27%	9.19%	−1.92%
過去6ヵ月間	10.32%	10.86%	−0.54%
過去1年間	26.15%	25.97%	0.18%
過去3年間	49.96%	37.65%	12.31%
過去5年間	65.14%	61.38%	3.76%
設定来	140.88%	159.14%	−18.26%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

基準価額・純資産の推移

2014/02/28～2024/02/29



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2019年07月	0円
2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	22.16%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	21.97%
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	20.98%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	19.97%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	7.98%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.86%
コール・ローン等	2.08%

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

運用実績

ハッピーエイジング40

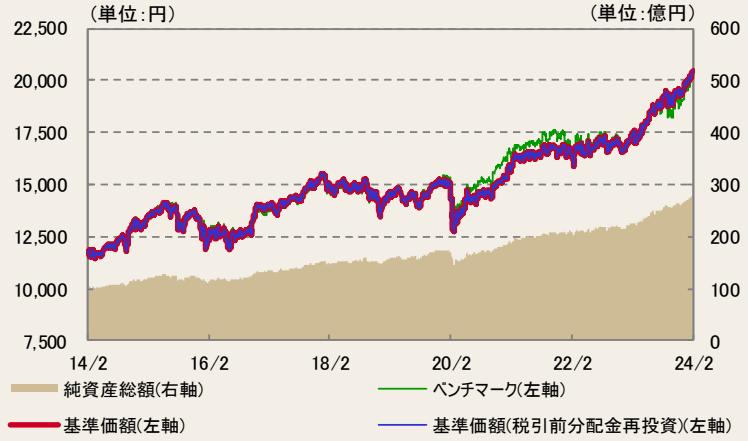
基準価額および純資産総額

基準価額	20,453円
純資産総額	279.29億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

基準価額・純資産の推移

2014/02/28～2024/02/29



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております。（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	2.18%	2.78%	−0.60%
過去3ヵ月間	5.04%	6.44%	−1.39%
過去6ヵ月間	7.07%	7.55%	−0.48%
過去1年間	17.76%	17.71%	0.05%
過去3年間	30.77%	24.05%	6.72%
過去5年間	40.25%	39.25%	1.00%
設定来	104.53%	126.44%	−21.91%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2019年07月	0円
2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
損保ジャパン日本債券マザーファンド	32.96%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	15.64%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	15.50%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	15.00%
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	14.00%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.76%
コール・ローン等	2.13%

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

運用実績

ハッピーエイジング50

基準価額および純資産総額

基準価額	16,885円
純資産総額	114.63億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

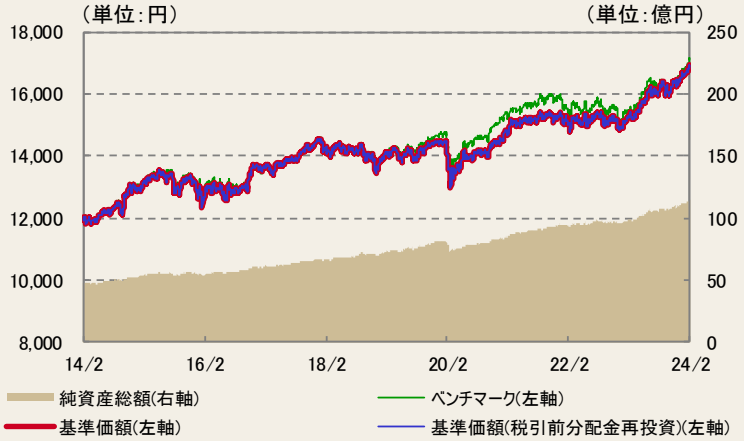
期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	1.43%	1.81%	−0.38%
過去3ヵ月間	2.99%	3.90%	−0.91%
過去6ヵ月間	4.16%	4.51%	−0.34%
過去1年間	10.27%	10.36%	−0.10%
過去3年間	15.16%	12.60%	2.57%
過去5年間	19.85%	20.70%	−0.85%
設定来	68.85%	92.03%	−23.18%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

基準価額・純資産の推移

2014/02/28～2024/02/29



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2019年07月	0円
2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
損保ジャパン日本債券マザーファンド	56.99%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	11.01%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	9.59%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	9.51%
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	8.01%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	3.07%
コール・ローン等	1.82%

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

運用実績

ハッピーエイジング60

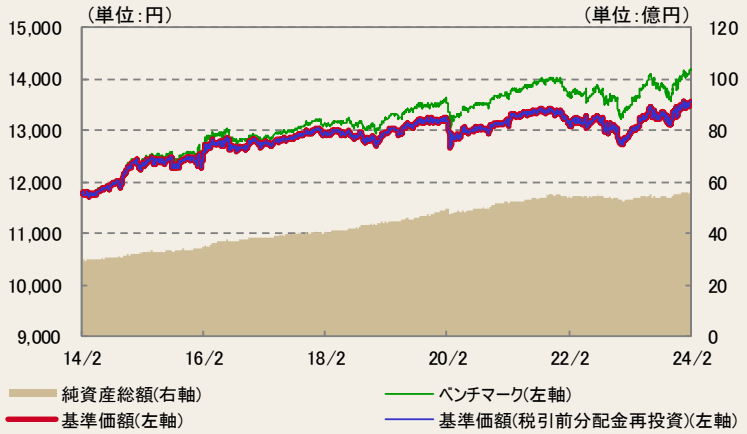
基準価額および純資産総額

基準価額	13,560円
純資産総額	55.89億円

※ 基準価額は、分配金控除後です。

基準価額・純資産の推移

2014/02/28～2024/02/29



※ 基準価額（税引前分配金再投資）は、分配実績があった場合に、税引前の分配金を決算日の基準価額で再投資したものとして計算しております（以下同じ）。
※ 基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）の計算において信託報酬（後掲「ファンドの費用」参照）は控除されております（以下同じ）。
※ ベンチマークの推移は、表示期間の期首の基準価額（税引前分配金再投資）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 分配実績がない場合、あるいは設定来累計の分配金額が少額の場合、基準価額及び基準価額（税引前分配金再投資）のグラフが重なって表示される場合があります。

期間別騰落率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	0.72%	0.93%	−0.21%
過去3ヵ月間	1.22%	1.76%	−0.54%
過去6ヵ月間	1.79%	2.09%	−0.30%
過去1年間	4.56%	4.95%	−0.39%
過去3年間	3.57%	4.18%	−0.61%
過去5年間	4.60%	7.23%	−2.63%
設定来	35.60%	61.37%	−25.77%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

分配実績（直近5期分／1万口当たり、税引前）

2019年07月	0円
2020年07月	0円
2021年07月	0円
2022年07月	0円
2023年07月	0円
設定来累計	0円

※ 収益分配金額は委託会社が決定します。分配を行わないこともあります。

構成比率

	純資産比
損保ジャパン日本債券マザーファンド	72.05%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	16.03%
SJAMスモールキャップ・マザーファンド	4.04%
SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	4.01%
損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド	2.00%
コール・ローン等	1.87%

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

主要な資産の状況①：SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

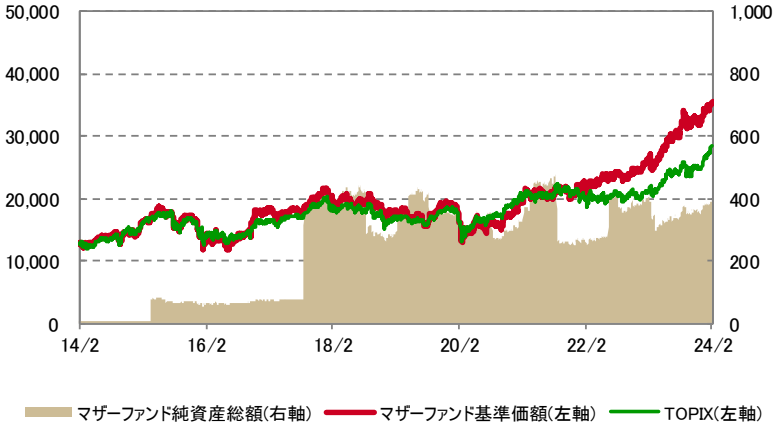
◆ファンドとTOPIXの収益率

	当ファンド	TOPIX	差
過去1ヵ月間	2.27%	4.89%	−2.62%
過去3ヵ月間	7.57%	12.67%	−5.10%
過去6ヵ月間	13.02%	14.74%	−1.72%
過去1年間	34.14%	34.24%	−0.10%
過去3年間（年率）	22.46%	12.80%	9.67%
過去5年間（年率）	14.35%	10.73%	3.62%
設定来（累積）	254.27%	62.43%	191.84%
設定来（年率）	7.29%	2.73%	4.55%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。
※ 当ファンドのベンチマークは Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）ですが、ハッピーエイジング・ファンドにおいて日本株のベンチマークをTOPIXとしているため、当ファンドにおいてもTOPIXと比較しております。
当ファンドの直近の計算期間におけるベンチマークとの比較は、運用報告書（全体版）をご参照ください。

◆基準価額の推移グラフ

（単位：円） 2014/02/28～2024/02/29 （単位：億円）



※ TOPIX（東証株価指数）の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 当ファンドのベンチマークは Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）ですが、ハッピーエイジング・ファンドにおいて日本株のベンチマークをTOPIXとしているため、当ファンドにおいてもTOPIXと比較しております。
当ファンドの直近の計算期間におけるベンチマークとの比較は、運用報告書（全体版）をご参照ください。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
株式	98.56%
コール・ローン等	1.44%

業種別構成比率（マザーファンド）

業種	純資産比
銀行業	21.0%
機械	10.9%
電気機器	9.4%
輸送用機器	7.2%
食料品	5.6%
不動産業	4.6%
建設業	4.5%
電気・ガス業	3.9%
化学	3.9%
その他	27.3%

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	業種	純資産比
1	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	6.9%
2	三菱地所	不動産業	4.6%
3	本田技研工業	輸送用機器	4.4%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.3%
5	大阪瓦斯	電気・ガス業	4.0%
6	マキタ	機械	3.4%
7	王子ホールディングス	パルプ・紙	3.3%
8	東レ	繊維製品	3.3%
9	八十二銀行	銀行業	3.3%
10	三井住友トラスト・ホールディングス	銀行業	3.2%
		組入銘柄数	42銘柄

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

主要な資産の状況② ：SJAMスモールキャップ・マザーファンド

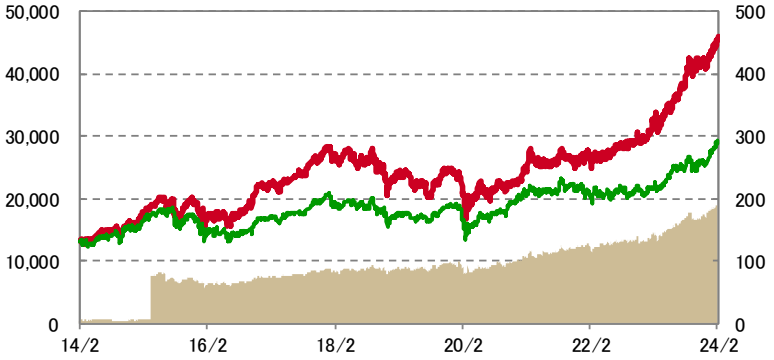
◆ファンドとTOPIXの収益率

	当ファンド	TOPIX	差
過去1ヵ月間	4.49%	4.89%	−0.39%
過去3ヵ月間	9.90%	12.67%	−2.77%
過去6ヵ月間	15.32%	14.74%	0.58%
過去1年間	41.27%	34.24%	7.03%
過去3年間（年率）	23.67%	12.80%	10.87%
過去5年間（年率）	13.71%	10.73%	2.99%
設定来（累積）	361.56%	71.85%	289.71%
設定来（年率）	9.72%	3.34%	6.38%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。
※ 当ファンドのベンチマークは Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）ですが、ハッピーエイジング・ファンドにおいて日本株のベンチマークをTOPIXとしているため、当ファンドにおいてもTOPIXと比較しております。
当ファンドの直近の計算期間におけるベンチマークとの比較は、運用報告書（全体版）をご参照ください。

◆基準価額の推移グラフ

（単位：円） 2014/02/28～2024/02/29 （単位：億円）



マザーファンド純資産総額(右軸) マザーファンド基準価額(左軸) TOPIX(左軸)

※ TOPIX（東証株価指数）の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
※ 当ファンドのベンチマークは Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）ですが、ハッピーエイジング・ファンドにおいて日本株のベンチマークをTOPIXとしているため、当ファンドにおいてもTOPIXと比較しております。
当ファンドの直近の計算期間におけるベンチマークとの比較は、運用報告書（全体版）をご参照ください。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
株式	98.60%
コール・ローン等	1.40%

業種別構成比率（マザーファンド）

業種	純資産比
銀行業	30.0%
化学	10.5%
電気機器	10.5%
小売業	9.0%
サービス業	7.7%
医薬品	5.5%
機械	5.2%
卸売業	4.6%
食料品	3.2%
その他	12.6%

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	業種	純資産比
1	めぶきフィナンシャルグループ	銀行業	3.7%
2	西日本フィナンシャルホールディングス	銀行業	3.1%
3	ジェイテクト	機械	3.1%
4	ほくほくフィナンシャルグループ	銀行業	3.0%
5	森永乳業	食料品	3.0%
6	サワイグループホールディングス	医薬品	2.9%
7	いよぎんホールディングス	銀行業	2.9%
8	群馬銀行	銀行業	2.6%
9	マブチモーター	電気機器	2.6%
10	セリア	小売業	2.6%
		組入銘柄数	90銘柄

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

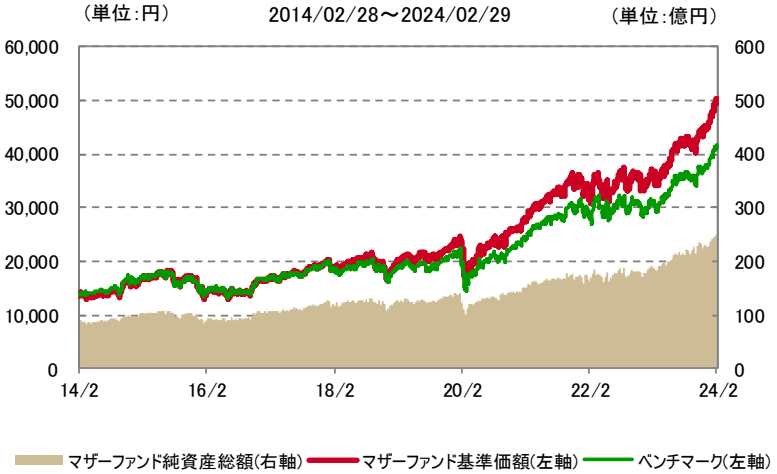
主要な資産の状況③ ：損保ジャパン-TCW外国株式マザーファンド

◆ファンドとベンチマークの収益率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	5.05%	4.71%	0.34%
過去3ヵ月間	14.57%	12.85%	1.72%
過去6ヵ月間	16.91%	14.32%	2.59%
過去1年間	38.93%	34.84%	4.10%
過去3年間（年率）	22.54%	20.13%	2.41%
過去5年間（年率）	20.12%	17.07%	3.06%
設定来（累積）	403.68%	266.19%	137.49%
設定来（年率）	6.75%	5.38%	1.37%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

◆基準価額の推移グラフ



※ ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
株式	93.20%
投資証券等	4.39%
コール・ローン等	2.41%

業種別構成比率（マザーファンド）

業種	純資産比
情報技術	23.3%
金融	21.6%
資本財・サービス	11.4%
ヘルスケア	10.7%
一般消費財・サービス	9.4%
コミュニケーション・サービス	5.7%
不動産	4.7%
素材	4.2%
生活必需品	3.6%
その他	2.9%

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	通貨	発行国/地域	業種	純資産比
1	MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	アメリカ	情報技術	4.5%
2	VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカ・ドル	アメリカ	金融	3.0%
3	NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	アメリカ	情報技術	2.9%
4	FISERV INC	アメリカ・ドル	アメリカ	金融	2.7%
5	WASTE CONNECTIONS INC	アメリカ・ドル	アメリカ	資本財・サービス	2.4%
6	HEICO CORP	アメリカ・ドル	アメリカ	資本財・サービス	2.1%
7	LINDE PLC	アメリカ・ドル	アメリカ	素材	2.1%
8	TRADE DESK INC/THE -CLASS A	アメリカ・ドル	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.0%
9	S&P GLOBAL INC	アメリカ・ドル	アメリカ	金融	1.8%
10	MASTERCARD INC-CLASS A	アメリカ・ドル	アメリカ	金融	1.8%
				組入銘柄数	220銘柄

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

主要な資産の状況④ ：損保ジャパン日本債券マザーファンド

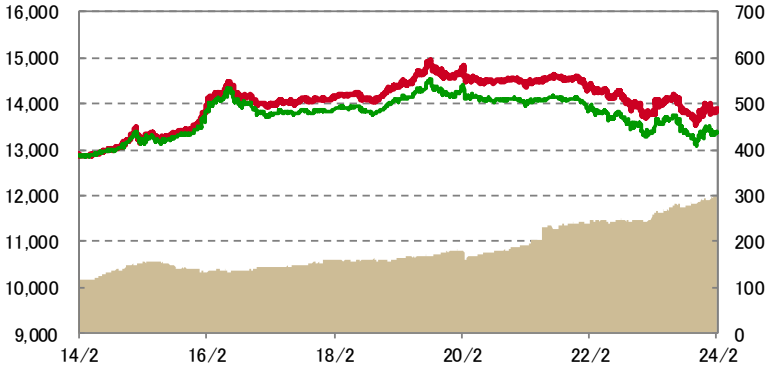
◆ファンドとベンチマークの収益率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	0.35%	0.32%	0.03%
過去3ヵ月間	0.07%	0.01%	0.07%
過去6ヵ月間	0.09%	−0.23%	0.32%
過去1年間	−0.03%	−0.72%	0.69%
過去3年間（年率）	−1.25%	−1.43%	0.18%
過去5年間（年率）	−0.76%	−1.03%	0.27%
設定来（累積）	38.47%	33.69%	4.78%
設定来（年率）	1.39%	1.24%	0.15%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

◆基準価額の推移グラフ

（単位：円） 2014/02/28～2024/02/29 （単位：億円）



マザーファンド純資産総額(右軸) マザーファンド基準価額(左軸) ベンチマーク(左軸)

※ ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合）の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
公社債	98.16%
コール・ローン等	1.84%

種類別構成比率（マザーファンド）

種類	純資産比
国債証券	68.2%
社債券	23.9%
地方債証券	3.3%
特殊債券	2.8%

ポートフォリオの状況（マザーファンド）

平均残存期間（年）	9.9
修正デュレーション（年）	9.1

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	種類	償還日	純資産比
1	第371回利付国債（10年）	国債証券	2033/6/20	4.7%
2	第364回利付国債（10年）	国債証券	2031/9/20	3.8%
3	第183回利付国債（20年）	国債証券	2042/12/20	3.1%
4	第352回利付国債（10年）	国債証券	2028/9/20	2.8%
5	第370回利付国債（10年）	国債証券	2033/3/20	2.8%
6	第162回利付国債（5年）	国債証券	2028/9/20	2.6%
7	第151回利付国債（20年）	国債証券	2034/12/20	2.6%
8	第76回利付国債（30年）	国債証券	2052/9/20	2.4%
9	第360回利付国債（10年）	国債証券	2030/9/20	2.1%
10	第182回利付国債（20年）	国債証券	2042/9/20	2.1%
		組入銘柄数		108銘柄

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

主要な資産の状況⑤ ：損保ジャパン外国債券(為替ヘッジなし)マザーファンド

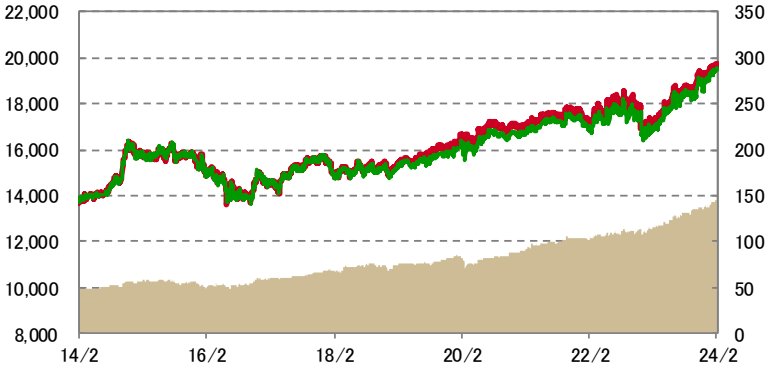
◆ファンドとベンチマークの収益率

	当ファンド	ベンチマーク	差
過去1ヵ月間	1.07%	1.35%	−0.28%
過去3ヵ月間	2.71%	3.23%	−0.52%
過去6ヵ月間	4.87%	5.17%	−0.30%
過去1年間	13.86%	15.10%	−1.23%
過去3年間（年率）	5.33%	5.51%	−0.18%
過去5年間（年率）	5.15%	5.09%	0.05%
設定来（累積）	97.51%	96.25%	1.26%
設定来（年率）	3.76%	3.72%	0.04%

※ ファンドの騰落率は、当ファンドに分配実績があった場合に、税引前の分配金を再投資したものとして計算しており、実際の騰落率とは異なります。
※ 設定来のファンド騰落率は、10,000 円を基準として計算しております。

◆基準価額の推移グラフ

（単位：円） 2014/02/28～2024/02/29 （単位：億円）



マザーファンド純資産総額(右軸) マザーファンド基準価額(左軸) ベンチマーク(左軸)

※ ベンチマーク（FTSE 世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の推移は、表示期間の期首の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

構成比率（マザーファンド）

	純資産比
公社債	96.25%
国債証券	96.25%
コール・ローン等	3.75%

ポートフォリオの状況（マザーファンド）

平均残存期間（年）	9.0
修正デュレーション（年）	6.9

組入上位10銘柄（マザーファンド）

	銘柄名	発行国	種類	通貨	償還日	純資産比
1	Treasury 2.75 280215	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2028/02/15	8.7%
2	Treasury 2.125 250515	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2025/05/15	8.0%
3	Treasury 3.75 300531	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2030/05/31	6.7%
4	GERMANY 0.0 261009	ドイツ	国債証券	ユーロ	2026/10/09	4.7%
5	Treasury 3.875 330815	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2033/08/15	4.4%
6	FRANCE 0.0 250225	フランス	国債証券	ユーロ	2025/02/25	3.1%
7	SPAIN 0.5 311031	スペイン	国債証券	ユーロ	2031/10/31	2.6%
8	ITALY 2.45 330901	イタリア	国債証券	ユーロ	2033/09/01	2.3%
9	Treasury 1.75 410815	アメリカ	国債証券	アメリカ・ドル	2041/08/15	1.8%
10	FRANCE 0.25 261125	フランス	国債証券	ユーロ	2026/11/25	1.8%
				組入銘柄数		147銘柄

基準日： 2024年2月29日

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

市場動向

日本株式市場

２月の国内株式市場（TOPIX）は月間ベースで+4.89%となりました。先月から海外投資家の買い越しが継続し、大型株中心に物色されました。また、国内外の企業決算が好調だったことに加えて、為替の円安ドル高基調が続いたことで企業業績の先行きに対する警戒感が薄れ、株価は上昇しました。好調な企業決算を発表した輸送用機器や政策保有株の売却期待が高まった保険株などが株式市場をけん引しました。

月初は、米国の堅調な経済統計の発表を受けて、早期の利下げ期待が後退したものの、内田日銀副総裁がマイナス金利解除後も日銀が緩和的な金融政策を維持するとの認識を示したことが好感されると、国内企業が好決算を発表したこともあって上昇しました。その後、米 CPI（消費者物価指数）や米 PPI（生産者物価指数）が市場予想を上回って、インフレ再燃リスクが意識される局面もありましたが、円安ドル高が進行したことで企業業績の先行きに対する警戒感が薄れて上昇基調となりました。月の後半にかけては、米半導体メーカーが好調な決算を発表し、AI 関連の半導体に対する強い需要が確認されると米国株式市場が史上最高値を更新し、日本株も上昇しました。

外国株式市場

２月の外国株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。上旬は、米国大型ハイテク企業の好決算や堅調な米雇用統計が好感され、株式市場は上昇しました。中旬以降は、米国の消費者物価指数の伸び率が市場予想を上回り、早期利下げ観測が後退したことなどから、株価は一時調整する局面もありましたが、米国の半導体大手企業が好決算を発表したことで AI 関連銘柄の株価が上昇し、株式市場は月末にかけて一段高となりました。

日本債券市場

２月の長期国債利回りは、小幅に低下（価格は上昇）しました。

国債利回りは残存期間によって異なる動きとなりました。日銀が継続的な物価・賃金の上昇の実現の確度につき前向きな姿勢を示したことなどから、４月にかけてのマイナス金利政策解除の織り込みが進み、短中期ゾーンの国債利回りは上昇（価格は下落）しました。一方で、内田日銀副総裁がマイナス金利解除後の追加利上げに対して慎重な発言を行ったことなどから、長期・超長期ゾーンの利回りは低下しました。

外国債券市場

【米国債券市場】

２月の債券利回りは、上昇（価格は下落）しました。

中旬にかけて、雇用統計や消費者物価指数が市場予想を上振れる強い結果であったことや、FRB（米連邦準備理事会）高官が早期の利下げ観測をけん制する発言を行ったことなどから、利回りは上昇しました。その後は、小売売上高が市場予想を下振れた一方、生産者物価指数は市場予想を上振れるなど強弱混在となったことから、月末にかけてもみ合いの展開となりました。

【欧州債券市場】

２月のドイツ債券利回りは、上昇（価格は下落）しました。

米国金利が上昇するなか、ドイツ債券利回りも上昇しました。ECB（欧州中央銀行）高官やラガルド ECB 総裁が、賃金上昇圧力の緩和を見極める姿勢を示したことや、政策スタンスの早期転換によりインフレが再燃する可能性について言及し早期の利下げをけん制したことなども、利回りの上昇要因となりました。

【英国債券市場】

２月の債券利回りは、上昇（価格は下落）しました。

雇用や賃金上昇が堅調であったことや、米国金利が上昇した影響などを受けて、英国債券利回りは上昇しました。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

エマージング株式市場

２月のエマージング株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。上旬は中国の政府系ファンドによる買い支えや機関投資家に対する空売り規制などを受け、株価は上昇しました。中旬以降は米国の大手ハイテク企業による生成 AI への投資姿勢の高まりを受け、台湾・韓国の半導体関連企業の株価が上昇したことに加え、中国人民銀行が政策金利の１つである５年物最優遇貸出金利を引き下げたことで、株式市場は一段と上昇しました。月末にかけては韓国政府が発表した企業価値向上政策の大枠が市場期待を下回ったことなどから調整する場面もありましたが、月間では株価はプラスとなりました。

外国為替市場

【米ドル円相場】

２月のドル円相場は、円安ドル高となりました。

月の前半は、米国の雇用統計や消費者物価指数が市場予想を上振れたことや、FRB（米連邦準備理事会）高官が早期の利下げ観測をけん制したことなどを受けて米国金利が上昇したこと、内田日銀副総裁がマイナス金利解除後の追加利上げに慎重な発言をしたことから、円安ドル高が進行しました。月の後半は、米国の金利上昇が一服したことや、日本の為替介入への警戒感などから、横ばい圏で推移しました。

【ユーロ円相場】

２月のユーロ円相場は、円安ユーロ高となりました。

内田日銀副総裁がマイナス金利解除後の追加利上げに慎重な発言をしたことや、ECB（欧州中央銀行）高官が、政策スタンスの早期転換によりインフレが再燃する可能性について言及し早期の利下げをけん制したことなどから、円安ユーロ高となりました。

【英ポンド円相場】

２月のポンド円相場は、円安ポンド高となりました。

BOE（イングランド銀行）が月初の金融政策委員会で政策金利の据え置きを決定したものの、２名の委員が利上げを支持したことや、ベイリーBOE 総裁が早期の利下げをけん制したことなどから、円安ポンド高となりました。

【エマージング通貨相場】

２月のエマージング通貨市場は、国によりまちまちの展開となりましたが、全体としては米国金利が上昇しドル高が進行したことから対米ドルでは下落し、円がそれ以上に対ドルで下落したため、対円では上昇しました。株高など市場のリスク選好が改善したことなどを受けて、高金利が好感されキャリートレードに伴う買いによりメキシコペソは上昇しました。一方、年次教書演説で大統領が、課題である電力供給や港湾等の物流問題に具体案を提示しなかったことや、大手格付機関が予算案について否定的な見解を発表したことなどを受けて、南アフリカランドが下落しました。

各ファンドの運用状況

２月のハッピーエイジング・ファンドの絶対リターンは、全てのファンドでプラスとなりました。

市場からのリターン（ベンチマークリターン）は、国内株式や外国株式が上昇したことを主因にプラスとなりました。

対ベンチマーク超過リターンは、ＳＪＡＭラージキャップ・バリュー・マザーファンドでマイナスとなったことを主因に、すべてのファンドでマイナスとなりました。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

日本株式

先月は、SJAM ラージキャップ・バリュー・マザーファンド（以下、LCV ファンド）、SJAM スモールキャップ・マザーファンド（以下、SC ファンド）ともに TOPIX を下回りました。

LCV ファンドではソニーグループのアンダーウェイトや日本テレビホールディングスのオーバーウェイトなどがプラス要因、トヨタ自動車のアンダーウェイトや日揮ホールディングスのオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。

SC ファンドでは、日本テレビホールディングス、いよぎんホールディングスのオーバーウェイトなどがプラス要因、エン・ジャパン、トラスコ中山のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。

先月は、LCV ファンドでは八十二銀行、武田薬品工業など、SC ファンドでは日本新薬、日本ゼオンなどを購入し、LCV ファンドでは住友電気工業、日本テレビホールディングスなど、SC ファンドでは日本テレビホールディングス、明電舎などを売却しました。

外国株式

損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンドの月間騰落率は、ベンチマークであるＭＳＣＩコクサイ インデックスの月間騰落率を上回りました。地域配分では欧州のアンダーウェイトなどがプラスに寄与したほか、業種選択ではコミュニケーション・サービスのアンダーウェイトなどがプラス寄与しました。また、銘柄選択では IT 会社のアップルなどの非保有や、広告技術会社のザ・トレードデスクのオーバーウェイトなどがプラス寄与しました。

当ファンドは、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力している複数のストラテジーの投資比率を適宜調整し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けうるポートフォリオの構築に努めています。セクター別では、ベンチマークに対して不動産セクターの保有割合を高めています。

（運用委託先からの情報を基に当社が作成）

日本債券

損保ジャパン日本債券マザーファンドの月間騰落率は、ベンチマークである NOMURA－BPI 総合指数の月間騰落率を小幅に上回りました。

デュレーション・残存期間戦略におけるロングデュレーション戦略がプラスとなりました。

種別戦略および個別銘柄選択におけるパフォーマンスへの影響は限定的でした。

外国債券

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドの月間騰落率は、ベンチマークである FTSE 世界国債インデックス（除＜日本、ヘッジなし・円ベース）の月間騰落率を下回りました。主に米国のロングデュレーション戦略がマイナス要因となりました。

＜国別配分戦略＞

FRB（米連邦準備理事会）の利下げ観測や ECB（欧州中央銀行）のマネタリーベース（資金供給量）の減少などから、ユーロは対ドルで上昇しやすいと考え、ユーロをドルに対してオーバーウェイトする戦略としました。

＜残存期間戦略＞

米国については、FRB の利下げ観測や期待インフレ率の低下などから、米国金利は低下しやすいと考え、ロングデュレーション戦略としました。しかし、堅調な雇用指標やインフレ率の上振れなどから、米国金利が大幅に上昇したため、中旬に戦略を解消しました。

欧州については、ECB の利下げ観測やインフレ鈍化などから、欧州金利は低下しやすいと考え、ロングデュレーション戦略としました。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

ファンドの特色

1 国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式及び債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

投資対象資産	投資対象とするマザーファンド等
国内株式	ＳＪＡＭラージキャップ・バリュー・マザーファンド、ＳＪＡＭスモールキャップ・マザーファンド
国内債券	損保ジャパン日本債券マザーファンド
外国債券	損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド
外国株式	損保ジャパン－ＴＣＷ外国株式マザーファンド
エマージング株式	エマージング株式またはエマージング株式を主要投資対象とする証券投資信託

2 長期的な視点から基準資産配分比率を決定し、当該比率をめどに投資を行います。基準資産配分比率は、次の手順で決定、見直しを行います。

1. 長期的視点から、国内外の長期的な過去データに基づく分析と将来に対する見通しに基づいて、各資産毎の長期的期待収益率、標準偏差、相関係数等を予測します。
2. 予測した各数値を基に、各ファンドの最適な資産配分比率を求め、基準資産配分比率とします。経済情勢の変化等により長期的に市場環境に大きな影響があると判断した場合には、基準資産配分比率の見直しを行います。

3 各ファンドの特徴は、以下のとおりです。

ハッピーエイジング20	国内外の株式の基準組入比率を90%とするファンドです。 リスクを積極的にとりながら資産の大きな成長を目指します。５つのファンドの中では最もリスクが高く、投資期間が長く積極的運用をお考えの方に適したファンドです。
ハッピーエイジング30	国内外の株式の基準組入比率を70%とするファンドです。 ５つのファンドの中では比較的高いリスクをとり適度に高い収益を目指します。資産の成長性を重視した運用をお考えの方に適したファンドです。
ハッピーエイジング40	国内外の株式の基準組入比率を50%とするファンドです。 ５つのファンドの中では、リスクのレベルは中位に位置し、リスク・リターンのバランスを重視した運用を目指します。積極性と安定性とのバランスのとれた運用をお考えの方に適したファンドです。
ハッピーエイジング50	国内外の株式の基準組入比率を30%とするファンドです。 ５つのファンドの中では比較的低位にリスクを設定し安定した運用を目指します。安定性に重点を置きつつ適度の収益性をも考慮した運用をお考えの方に適したファンドです。
ハッピーエイジング60	国内外の株式の基準組入比率を10%とするファンドです。 ５つのファンドの中では最もリスクを抑え、より安定した運用を目指します。投資期間が比較的短く安定性を重視した運用をお考えの方に適しています。

4 投資目的、投資期間、リスク許容度等に応じて、リスク水準の異なる５種類のファンドからご選択いただけます。
●ハッピーエイジング２０が、最も積極的（高リスク）運用を行うファンドで、ハッピーエイジング６０が、最も安定的（低リスク）運用を行うファンドです。

5 各ファンドの運用は、以下の個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均したものを総合ベンチマークとし、これを上回る運用成果を目指します。

資産	ベンチマーク
国内株式	東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）
国内債券	ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ総合指数
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
外国株式	ＭＳＣＩコクサイ　インデックス（円換算ベース）
エマージング株式	ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）
短期資産	有担コール翌日物

- 東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。
- NOMURA－BPI総合指数とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表している、日本の公募債券流通市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づき構成されたポートフォリオのパフォーマンスをもとに計算されます。なお、NOMURA-BPI総合指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。
- FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。
- MSCIコクサイ　インデックスとは、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数です。MSCIコクサイ　インデックス（円換算ベース）は、MSCIコクサイ　インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。なお、MSCIIndexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
- MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数です。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

投資リスク

《基準価額の変動要因》

各ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動き等による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属いたします。したがって、投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。
各ファンドの主なリスクは以下のとおりです。
※基準価額の変動要因は、以下に限定されるものではありません。

◆資産配分のリスク
各ファンドの基準資産配分比率が収益の源泉となる場合もありますが、配分比率が高い資産の価格が下落した場合等には株式、債券市場全体やベンチマークの収益率を下回ることがあります。

◆価格変動リスク
株式や公社債の価格は、国内外の政治・経済情勢、市況等の影響を受けて変動します。
また、一般に、金利が上昇すると、公社債の価格は下落します。組入れている株式や公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

◆信用リスク
株式や公社債の価格は、発行体の財務状態、経営、業績等の悪化及びそれらに関する外部評価の悪化等により下落することがあります。組入れている株式や公社債の価格の下落は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
また発行体の倒産や債務不履行等の場合は、株式や公社債の価値がなくなることもあり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆流動性リスク
国内外の政治・経済情勢の急変、天災地変、発行体の財務状態の悪化等により、有価証券等の取引量が減少することがあります。この場合、ファンドにとって最適な時期や価格で、有価証券等を売買できないことがあり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。
また、取引量の著しい減少や取引停止の場合には、有価証券等の売買ができなかったり、想定外に不利な価格での売買となり、ファンドの基準価額が大きく下落する場合があります。

◆為替変動リスク
外貨建資産の価格は、当該外貨と日本円との間の為替レートの変動の影響を受けて変動します。
為替レートは、各国の政治・経済情勢、外国為替市場の需給、金利変動その他の要因により、短期間に大幅に変動することがあります。当該外貨の為替レートが、円高になった場合は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

《その他の留意点》

◆ クーリングオフ制度（金融商品取引法第37条の6）の適用はありません。

◆ 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、ファンドの基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込の受付が中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

◆ 収益分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、収益分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。収益分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、収益分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、収益分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

◆ マザーファンドに投資する別のベビーファンドの追加設定・解約等により、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合等には、当ファンドの基準価額が影響を受ける場合があります。

◆ ファンドとベンチマークは組入銘柄や国別配分比率が異なることがあり、ファンドの運用成績はベンチマークを下回る場合があります。

詳細については、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。
換金価額	換金請求受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金請求受付日から起算して、原則として5営業日目からお支払いします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所、英国証券取引所、フランクフルト証券取引所、パリ証券取引所のいずれかの取引所あるいはニューヨークまたはロンドンの銀行の休業日においては、お申込みの受付はできません。
申込締切時間	原則として午後３時まで（販売会社により異なる場合がありますので、詳細につきましては販売会社までお問い合わせください。）
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金請求を制限する場合があります。
購入・換金 申込受付の中止 及び取消し	委託会社は、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、取引市場における流動性が極端に減少した場合、取引市場の混乱、自然災害、テロ、大規模停電、システム障害等により基準価額の算出が困難となった場合、その他やむを得ない事情があると判断したときは、購入・換金の受付を中止すること、及び既に受付けた当該申込みの受付を取り消すことができるものとします。
信託期間	無期限（設定日　2000年7月31日）
繰上償還	各ファンドの受益権の残存口数が１億口を下回ることとなった場合、繰上償還することが受益者のため有利であると認めるとき、またはやむを得ない事情が発生したときは、繰上償還させることがあります。
決算日	原則7月15日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	毎決算時（年1回）、収益分配方針に基づいて収益の分配を行います。 ※ 各ファンドは分配金を再投資する自動けいぞく投資コースのみとなります。
信託金の限度額	各ファンド2,000億円
公告	委託会社のホームページ（https://www.sompo-am.co.jp/）に掲載します。
運用報告書	原則、毎決算時及び償還時に、交付運用報告書を作成し、あらかじめお申し出いただいたご住所に販売会社を通じて交付します。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。ハッピーエイジング20、30および40は非課税累積投資契約に係る少額投資非課税制度「つみたてNISA（ニーサ）」の適用対象です。ただし、販売会社によってはつみたてNISAでの取扱い対象としない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 ※ 上記は2023年12月末までの制度となります。2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

●税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%
換金（解約）時 及び償還時	所得税及び地方税	譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」をご利用の場合
毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
（注）上記は2023年12月末までの制度となります。2024年1月1日以降は一定額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。また、税法上の要件を満たした商品を購入した場合に限り、非課税の適用を受けることができます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

※ 確定拠出年金法に定める加入者等の運用の指図に基づいて購入の申込みを行う資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
※ 法人の場合は上記とは異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
購入時手数料	購入価額に2.2%（税抜2.0%）を上限として販売会社が定めた手数料率を乗じた額です。 ※ 詳細につきましては、販売会社までお問い合わせください。	販売会社によるファンドの商品説明・投資環境の説明・事務処理等の対価
信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
運用管理費用（信託報酬）	各ファンドの日々の純資産総額に対して以下の率を乗じた額です。 運用管理費用（信託報酬）は、毎日計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の６ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに、ファンドから支払われます。	運用管理費用（信託報酬）＝運用期間中の基準価額×信託報酬率

ファンド名	信託報酬率（年率）	内訳（税抜 年率）		
		委託会社	販売会社	受託会社
ハッピーエイジング20	1.617%（税抜1.470%）	0.59%	0.83%	0.05%
ハッピーエイジング30	1.485%（税抜1.350%）	0.53%	0.77%	0.05%
ハッピーエイジング40	1.320%（税抜1.200%）	0.47%	0.68%	0.05%
ハッピーエイジング50	1.133%（税抜1.030%）	0.41%	0.57%	0.05%
ハッピーエイジング60	0.946%（税抜0.860%）	0.35%	0.46%	0.05%

運用管理費用（信託報酬）を対価とする役務の内容

委託会社	ファンドの運用の対価
販売会社	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行等の対価

※ 委託会社の報酬には、損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンドの運用の指図に関する権限を委託したTCWへの投資顧問報酬が含まれます。投資顧問報酬の額は、各ファンドの純資産総額に当該計算期間を通じて毎日、年0.082%以内の率を乗じて得た金額とします。〔ファンドの運用の対価〕

その他の費用・手数料	以下の費用・手数料等が、ファンドから支払われます。 ・監査費用 ・売買委託手数料 ・外国における資産の保管等に要する費用 ・信託財産に関する租税　等 ※ 上記の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。	・監査費用： 監査法人に支払うファンド監査にかかる費用 ・売買委託手数料： 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ・保管費用： 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用

● 当該手数料等の合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することができません。

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30 ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50 ハッピーエイジング60

●「ハッピーエイジング・ファンド」受賞歴

R＆Ｉファンド大賞2023年

●投資信託 バランス型（株式・REIT中心）部門『最優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング20」

●投資信託 バランス型（株式・REIT中心）部門『優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング30」

●投資信託 バランス型（標準）部門『最優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング40」

R＆Ｉファンド大賞2018年

●iDeCo・DC バランス安定部門『最優秀ファンド賞』
●NISA バランス安定部門『優秀ファンド賞』
「ハッピーエイジング60」

●委託会社受賞歴

- 当社はＲ＆Ｉファンド大賞2018の「投資信託／総合部門」においてバランス総合「最優秀賞」を受賞しました。
- 当社はＲ＆Ｉファンド大賞2017の「投資信託／総合部門」においてバランス総合「優秀賞」を受賞しました。
- 当社はＲ＆Ｉファンド大賞2010の「投資信託／総合部門」において国内株式総合「優秀賞」を受賞しました。

「Ｒ＆Ｉファンド大賞」は、Ｒ＆Ｉが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきＲ＆Ｉが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第２９９条第１項第２８号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はＲ＆Ｉに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

●委託会社・その他の関係法人

委託会社	ファンドの運用の指図を行います。 ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者（関東財務局長（金商）第351号） 加入協会　一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 ホームページ　：　https://www.sompo-am.co.jp/ 電話番号　　：　0120-69-5432　●リテール営業部
受託会社	ファンドの財産の保管及び管理を行います。 みずほ信託銀行株式会社
販売会社	受益権の募集の取扱、販売、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、償還金および一部解約金の支払等を行います。

●販売会社（順不同、○は加入協会を表す）

販売会社名	区分	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業協会	備考
株式会社ＳＢＩ証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○		
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○		
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第94号	○	○	○	○	※３
損保ジャパンＤＣ証券株式会社 （確定拠出年金専用）	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○				
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	
静岡東海証券株式会社 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第8号	○				
丸八証券株式会社 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○				
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○		
大熊本証券株式会社 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○				
株式会社北海道銀行 ※ハッピーエイジング20/30/40のみのお取扱いとなります。	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○		
株式会社大東銀行 ※ハッピーエイジング40のみのお取扱いとなります。	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○				
株式会社みずほ銀行 （確定拠出年金専用）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第3号	○		○	○	
株式会社ＳＢＩ新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社ＳＢＩ証券、マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		
株式会社イオン銀行 （委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○				
損害保険ジャパン株式会社 （確定拠出年金専用）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第142号	○				

＜備考欄の表示について＞

※１　記載の日付より新規お取扱いを開始します。

※２　記載の日付以降の新規お取扱いを行いません。

※３　新規のお取扱いを行っておりません。

＜ご留意事項＞

・上記掲載の販売会社は、今後変更となる場合があります。

・上記掲載以外の販売会社において、お取扱いを行っている場合があります。

・詳細は販売会社または委託会社までお問い合わせください。

当資料のご利用にあたっての注意事項

◆ 当資料は、ＳＯＭＰＯアセットマネジメント株式会社により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当ファンドの購入のお申込みの際には販売会社より投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので、必ずお受け取りの上、詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

◆ 当ファンドは、値動きのある証券に投資しますので、基準価額は大きく変動します。また、外貨建て資産に投資する場合には、為替リスクがあります。投資信託は、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。

◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

◆ 投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

◆ 登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。

◆ 当資料に記載されているグラフ・数値等は過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。分配金に関しては、運用状況によっては、分配金額が変わる場合、或いは分配金が支払われない場合があります。

◆ ファンドマネージャーのコメント、方針、その他の予測数値等については、作成時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等により、当該運用方針やその他予測数値等が変更される場合があります。また、記載した内容は、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

◆ 当資料に記載されている各数値は四捨五入して表示していることがありますので、誤差が生じている場合があります。

◆ 当資料に記載されている各事項につきましては、正確性を期しておりますが、その正確性を保証するものではありません。当資料に記載の当社の意見等は予告なく変更することがあります。